

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2018-01-01

No. 94

株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-15 Ed. 2.0 (2010-08) – フリッカーメータ: 解釈シート 1	3
IEC: 規格解説: CISPR 25 Ed. 4.0 (2016-10)への誤り訂正 COR1: 2017 が発行	5
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	9
UNECE: 国際テーマ: 事故緊急通報システム (AECS)に関する新規制 No. XXX 提案	11
UNECE: 国際テーマ: 自動運転の定義と自動車両: 国連 UN 規制の開発一般原則提案	12
国際テーマ: IEC: 標準化のリ・イノベーション (再発明)	14
国際テーマ: チリでは近いうち、さらに多くの製品の認証が必要に	14
国際テーマ: アラブ湾岸地域の GCC (湾岸協力会議)における規制枠組み	15
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	16
USA: FCC: Part 2,15,18,73,74,78,80,87,90, 及び 101: 無線周波機器の認可規則施行(1/3)	17
USA: FCC: KDB: メディカルボディエリアネットワーク(MBAN)測定手順	20
USA: FCC: 24 GHz 超えスペクトラムにおいて次世代ワイヤレス技術を促進	22
USA: FCC: 試験所認定機関としての承認を申請する PJLA に対するコメントを要請	23
USA: CPSC: ASTM F963-17 玩具安全のための標準消費者安全仕様が強制的玩具規格に	24
USA: OSHA: 国家認定試験所(NRTL)プログラムの概要 (6/6)	24
USA: FDA: FDA の 1997 年の近代化法: 認知規格リストの修正、認知リスト番号: 048	25
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	26
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	26
USA: IEEE: 新規格リスト	27
EU: 整合規格リスト: ケーブルウェイ指令、個人防護具指令、レールシステム指令等	29
EU: 無線機器指令/R&TTE 指令整合規格リスト発表: 解説: 2017/12/15 日付け	30
EU: 防爆指令 ATEX 2014/34/EU に関するガイドライン、2 種利用可能	31
EU: より安全でクリーンな自動車に向け規則強化する欧州委員会提案に関する合意	31
EU: CENELEC: 新規格リスト	32
EU: ETSI: 新規格リスト	34
ニュージーランド: 電気車両充電安全ガイドラインの見直し	34
中国: CQC: 定格電圧が 1000V 以下の電気自動車用可とうケーブルの安全認証業務	35
中国: CQC: 銅張積層板使用のプリント基板等使用のプリント基板の安全認証規則	35
中国: CQC: LED モジュール用電子制御装置のエネルギー効率認証技術規範等	35
中国: CQC: 電子レンジのエネルギー効率認証への新版規格と認証規則の実施	36
中国: 新規格リスト	36
台湾: 検査対象の車用デジタルカメラなどの商品の関連検査規定の改正通知	37
台湾: 高効率太陽光発電モジュール技術規範の改正を通知、即日発効	37
台湾: 新規格リスト	37
韓国: 放送通信機資材などの適合性評価に関する告示 (第 2017-14 号、2017.12.5)	38
韓国: 安全確認対象の生活用品 (二輪自転車) 安全基準の改正 (案) 立案予告	39
総務省: 報告 (案) に対する意見募集: 400 MHz 帯デジタル船上通信設備等	40
総務省: 報告 (案) に対する意見募集: 9 GHz 帯航空機搭載型合成開口レーダ	40
総務省: 新 4K 8K 衛星放送に関する周知・広報強化活動の開始	41
経済産業省: 平成 28 年度電気用品安全法の規制対象品試買テスト結果の概要	41
経済産業省: 電気用品の範囲等の解釈についての一部改正: ポータブル Li-ion 蓄電池	41
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈が一部改正	42
経済産業省: 電気用品安全法: 「表示の方式」のページに主な承認略称を掲載	43
経済産業省: 電気用品安全法 FAQ ページの最新情報	43
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) を制定・改正しました (平成 29 年 12 月分)	44
ちょっといっふく〜小クイズコーナー 「CENELEC 規格番号に関して」	16
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	28
社長の独り言	45



IEC: 規格解説: IEC 61000-4-15 Ed. 2.0 (2010-08) - フリッカーメータ: 解釈シート 1

- IEC 61000-4-15:2010 への解釈シート(IEC 61000-4-15:2010/ISH1:2017)が、2017-08-23 付で発行された。IEC 61000-4-15 Ed 2 は、“20 % デューティサイクルを有する矩形波電圧変化”と呼ばれるものに対して、わかりづらいということで、第 6.8 項タイトル、及び関連テキストが変更された。

IEC: 規格解説: CISPR 25 Ed. 4.0 (2016-10)への誤り訂正 COR1: 2017 が発行

- CISPR 25 Ed. 4.0 (2016-10) 車両、ボート及び内燃エンジン - 無線妨害特性 - 搭載受信機の保護のための限度値及び測定方法 への誤り訂正 CISPR25 COR1: 2017 が発行された。図 3: 電波暗室 ALSE (absorber-lined shielded enclosure) の側壁、天井から車迄の距離 1m 以下 → 1m 以上 に変更 等

UNECE: 国際テーマ: 事故緊急通報システム (AECS)に関する新規制 No. XXX 提案

- 道路交通事故の自動緊急通報システムに関する新しい国連規制により、対応時間が短縮され、命が救われる。一般安全規定作業班 (GRSG)による、事故緊急通報システム (AECS)に関する新規制 No. XXX に対する提案が WP.29 で採択された

USA: FCC: Part 2,15,18,73,74,78,80,87,90, 及び 101: 無線周波機器の認可規則施行(1/3)

- 連邦通信委員会 (FCC) は、機器認可規則を修正し、特定の手順を統合 簡略化 および合理化し、特定状況下における輸入申告 FCC フォーム 740 の提出要件を廃止する。
- 無線周波機器の認可に関する本 FCC 規則は、2017/11/2 に官報により公布され、同日施行された。最終規則の前文部分を全訳、三回に分けお届けする。

USA: FCC: KDB: メディカルボディエリアネットワーク(MBAN)測定手順

- Part 95 に基づくメディカルボディエリアネットワーク(MBAN)への適合を評価する際に使用される手順に関しての質問と答え。

EU: 無線機器指令/R&TTE 指令整合規格リスト発表: 解説: 2017/12/15 日付け

- 2017/12/15 日付け無線機器指令 (RED) (2014/53/EU)/R&TTE 指令(1999/5/EC) 関連の整合規格リストが発行された。(new)の表示のある今回追加された規格は、5 件であった

経済産業省: 電気用品の範囲等の解釈についての一部改正に対する意見募集を開始: ポータブル Li-ion 蓄電池

- 「電気用品の範囲等の解釈について」の一部改正に対する意見募集を開始しました (～平成 30 年 1 月 22 日まで)。「電気用品の 範囲等の解釈について (平成 24・03・21 商第 1 号)」を改正し、今後ポータブルリチウムイオン Li-ion 蓄電池は電気用品安全法の規制対象として取り扱うことを明確にする。

社長の独り言

平成 30 年 1 月 1 日
濱口 慶一

新年あけましておめでとうございます。
皆様にも良い新年となりますよう祈念致します。

弊社、株式会社コスモス・コーポレーションは、平成 29 年 11 月 21 日付けで電気用品安全法下での登録検査機関として再登録されました。“交流用電気機械器具”のみですが、故高杉和徳氏の教えを守り、会社を成長させ、全社員一丸で皆様のご期待に応えていきたいと思ひます。

いろいろと経営に困った時にお知恵を頂いていた方が社長を務められている会社が、昨年暮れに創立 50 周年を迎え、その記念のイベントに家内と二人で招待いただきました。何か場違いな気もしましたが、厚かましく参加してきました。その席の来賓の方の挨拶で、T 社の代表取締役会長の T 氏が“鉛筆人間を目指しなさい”と応援の祝辞を述べていたのが心に響きました。残念ながら歳のせいで詳細を記憶していないのですが、要は鉛筆のように芯があり、そして周りに気（木）を使う人間、という説明に大きく心が響きました。芯とは何か？などと考えてしまひますが、今のところ自分なりの経営哲学ではないかと思ひます、自分なりの哲学では独りよがりの哲学になってしまう危険があるので、周りの意見をきちんと聞いて（気にして）必要なら修正、改良することが出来る人間へと成長することが会社経営者の大きな目標と今は理解しています。

NHK の朝の連続ドラマの“わろてんか”も毎日観ていると感じることが多いです。人の幸せの一つの表現として、私は次のような状況下で自分が死を迎えられたら、最高に幸せな状況でこの世と別れられると思うのです。それは、

- 1、 家内か、うら若き看護師に手を取って頂いて脈を診てもらえる
- 2、 家族はどうしても片付けなければならない仕事をもっていて、病床の父親の所には来れない
- 3、 会社の番頭やスタッフもお客様の仕事を遂行するために駆け付けない

人生の伴侶以外に誰も来ないと言うのは寂しいと感じる方はいるかもしれませんが、この世を去って行く者の心では、自分が居なくなっても家族や関係者が立派に生きていけることが一番うれしく幸せに感じることでとは私は思ひます。

昨年、素晴らしい本に出会いました。“セーフウェア（Safeware-System Safety and Computers）Nancy G. Leveson 著、松沢友夫監訳・訳 片平真史、吉岡律夫、西康晴、青木美津江訳、株式会社翔泳社、ISBN978-4-7981-1684-6”です。その中で“リスク”を以下のように定義していますので引用して終わりたいと思ひます。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

「システム安全にはリスク管理のすべてのスペクトルが含まれる。それはハードウェアと、システム安全工学の関連手順を超えたものである。そこに含まれるのは設計者と製造業者の態度ややる気、従業員と経営者の親密な関係、関連する業界団体と政府との関係、監督と品質管理における人間的な要因、設計及び運用と一体になった産業安全と公衆安全のインターフェイスの文章類、上層部の関心と態度、事故調査及び事故情報交換に関する法的システムの効果、危険な作業をする作業者の認証、政治的な配慮、資源、一般市民の心情、および、許容できるリスク制御レベルの達成にきわめて重大な影響を及ぼすその他の多くの技術的でない問題、などである。システム安全のこうした技術以外の面は無視できない。」

- ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行 : 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格 : 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2018-01-01 (No. 94)

発行所 : 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人 : 濱口慶一

編集人 : 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2018 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。